

## みその ～御園バラ色化プロジェクト～

相模原市  
株式会社日本アメニティライフ協会 花織さがみ御園  
施設長 米島 庸子

### 1 はじめに

「コキアのバラ色の紅葉が見たい！」という思いから始まりました。利用者様と共に、ひたち海浜公園に行きたいとの思い。遠すぎるので、とりあえず施設の花壇にコキアを植えることにしました。平成28年8月1日にオープンし、花壇に花を植え、地域の方々と楽しんでいました。平成28年9月から緑色のコキアの苗を植え、行きかう人も利用者様も、スタッフもバラ色の変化を楽しみ、10月中旬に、ささやかな20本ほどの小さな紅葉、バラ色の紅葉に魅せられました。20本だけでも、地域の方々、利用者様、スタッフは、ふわふわモコモコのコキアに魅了されました。

平成29年5月から、地域の農家の方からアドバイスを受け、皆さんと、去年とれた種をまき、水をまき、丹精込めて育て、施設周辺がコキアの苗で高原の様になりました。行きかう人も利用者様も、スタッフもコキアに魅力を感じ、移動できるよう植木鉢にコキアの苗も育てました。50鉢の苗を育て、御園地域をバラ色にしたいと、皆で考えました。コキアを通して地域づくりに利用者様と共に貢献できれば、高齢でも地域の役に立つことができるとの思いが、生きがいに繋がり、来年もまた、翌年もと続けていきたいと夢をふくらませています。



### 2 事例や取り組みの紹介

「ここは、レストランですか?」「コーヒー飲めますか?」と、尋ねられる施設です。おしゃれなカフェ、レストランを思わせる建物の外観からは、小規模多機能型居宅介護の施設とわかって頂けてない現状がありました。この御園地区では、はじめての小規模多機能型居宅介護の施設になり、いつまでも住み慣れた家で暮らせるお手伝い出来る事をなんとかしてお伝えしたいと、考えていました。

今年、4月から相模原市の「ふらっと相模台」に協力し、地域のお茶飲みスペースとして、施設を開放し、少しでも施設を理解していただき、支援が必要な方々に必要な支援を届けたいと、始まりま

した。「ふらっと相模台」の協力施設同士のつながりも強く、お互いの助け合いでイベント協力も強く出来ています。情報共有のお陰でボランティアの紹介もあり、育成サポーターの協力も得られました。コキアの植木鉢の里親制度を作り、植木鉢を預かって頂き、緑色からバラ色へ変わる風景を、地域全体で見守りしていく「御園バラ色化プロジェクト」を始めました。

コキアの里親募集を行い、御園地区一帯がコキアの緑からバラ色への紅葉を町全体で楽しめるよう、地域のボランティア団体に育成サポーターをお願いし、同時に高齢世帯の安否確認にも活用させて頂きました。高齢の方でも参加しやすく、水や肥料の支援をする育成サポーターが定期的に里親の所を訪れ、コキアが紅葉するまで育成のお手伝いをします。利用者様は、よく日が当たると丸く大きく育っていくとおっしゃり、植木鉢の向きを見てくださり、スタッフと共に植木鉢の向きを変えてくれます。特に、お気に入りの鉢に「うるわし 美子」「緑子」「さくらこ」と名前を考え、愛着を持って、鉢、一つ一つに声をかけて大切に育てています。コキアの別名は、「ほうき草」と呼ばれ、利用者様と枯れた枝をほうきに仕立て皆さんに使って頂くことも準備しています。ただ、枯れるのではなく、人の役に立つところが高齢の利用者様を元気にします。今年の秋は、早く、コキアの紅葉は始まっています



### 3 考察

利用者様は、「健康まつり」「ふらっと相模台」等を通して、地域づくりの担い手になっています。利用者様にとって、お客様でなく自身がボランティア協力出来る機会があり、日常生活のリハビリに繋がっています。「御園バラ色化プロジェクト」のような、花織さがみ御園のイベントを継続的に手伝って頂くことで、介護度も軽くなっています。地域づくりに参加、行動することで、日常生活のリハビリになり、介護度も軽くなっていることが地域全体、町ぐるみで認知症サポートが成り得ると確信いたします。特に、要介護4→要介護2 1名、要介護3→要支援2 2名と中・重度の方の改善が目立ちます。



#### 4 おわりに

ささやかな夢が、多くの方の協力で実現いたしました。来年も、もっと広く地域でバラ色化プロジェクトに取り組み、さらに地域の力という埋蔵エネルギーを大きな力に変え、利用者様をはじめ、地域の方々と共に「御園バラ色化プロジェクト」を進めていきたいと考えています。多くの方々へ感謝を伝えたく、御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

